

令和3年度第1回 インターネット都政モニターアンケート

「葛西臨海水族園を含む葛西臨海公園一帯」及び
「道路施設の維持管理」について

調査結果



調査実施の概要

1 アンケートテーマ

「葛西臨海水族園を含む葛西臨海公園一帯」及び「道路施設の維持管理」について

2 アンケート目的

葛西臨海水族園を含む葛西臨海公園一帯における今後の施策推進と、道路施設(橋やトンネル等)の維持管理に係る新たな予防保全計画策定への参考とする。

3 アンケート期間

令和3年6月16日(水曜日)から6月22日(火曜日)まで

4 アンケート方法

インターネットを通じて、モニターがアンケート専用ホームページから回答を入力する。

5 インターネット都政モニター数

500人

6 回答者数

494人

7 回答率

98.8%

「葛西臨海水族園を含む葛西臨海公園一帯」及び 「道路施設の維持管理」について

1 調査項目

- Q 1 葛西臨海公園一帯の利用状況
- Q 2 利用したことのある公園施設
- Q 3 利用したいと思う公園施設
- Q 4 公園一帯の現在の魅力
- Q 5 今後の葛西臨海公園に望む機能・施設
- Q 6 新しい葛西臨海水族園への期待
- Q 7 新しい葛西臨海水族園のサービス
- Q 8 現水族園（既存施設）の展示・プログラム
- Q 9 現水族園（既存施設）の活用
- Q 10 葛西臨海公園一帯について（自由意見）
- Q 11 劣化や損傷が進行する道路施設に対する認識
- Q 12 道路施設の維持管理に求めるもの
- Q 13 道路施設の維持管理の優先度
- Q 14 予防保全型管理の認知度
- Q 15 「予防保全計画」の認知度
- Q 16 予防保全型管理に対する認識
- Q 17 道路施設の維持管理について（自由意見）

		モニター 人数	回 答		
			人 数	構成比	率
全 体		500	494	-	98.8
性 別	男性	250	247	50.0	98.8
	女性	250	247	50.0	98.8
年 代 別	18・19歳	10	10	2.0	100.0
	20代	61	59	11.9	96.7
	30代	86	84	17.0	97.7
	40代	94	94	19.0	100.0
	50代	83	82	16.6	98.8
	60代	59	59	11.9	100.0
	70歳以上	107	106	21.5	99.1
職 業 別	自営業	42	42	8.5	100.0
	常勤	200	197	39.9	98.5
	パート・アルバイト	66	66	13.4	100.0
	主婦・主夫	86	86	17.4	100.0
	学生	28	27	5.5	96.4
	無職	78	76	15.4	97.4
居住地域別	東京都区部	344	341	69.0	99.1
	東京都市町村部	156	153	31.0	98.1

※ 集計結果は百分率（%）で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならないものがある。

※ n (number of cases) は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。

※ 複数回答方法・・・(MA) =いくつでも選択、(3MA) =3つまで選択、(2MA) =2つまで選択

今回のアンケートでは、大きく2つのテーマを取り上げます。

「葛西臨海水族園を含む葛西臨海公園一帯」では、葛西臨海公園・海浜公園一帯とともに、新たに整備する葛西臨海水族園について、現在の水族園建物の活用方法を含め、皆さまの意識や要望を伺います。

「道路施設の維持管理」では、橋やトンネル等の道路施設の維持補修に関する皆さまの意識などを伺います。

アンケートの結果は、今後の施策推進の参考といたします。

<葛西臨海水族園を含む葛西臨海公園一帯>

葛西臨海公園は、「緑と水と人のふれあい」をテーマに平成元年に誕生した公園です。緑あふれる芝生広場をはじめ、水族園や鳥類園などの各種施設を有し、また、ラムサール条約湿地に登録されている葛西海浜公園にも隣接しており、公園一帯が自然豊かな行楽地として親しまれています。

<参考>

- ・葛西臨海公園・葛西海浜公園

https://www.tokyo-park.or.jp/map/kasairinkai_map202008.pdf

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index026.html>

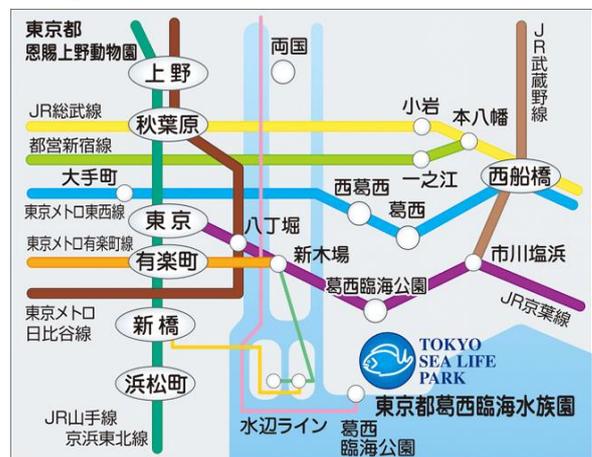
- ・葛西臨海水族園

<https://www.tokyo-zoo.net/zoo/kasai/>

(アクセスマップ)



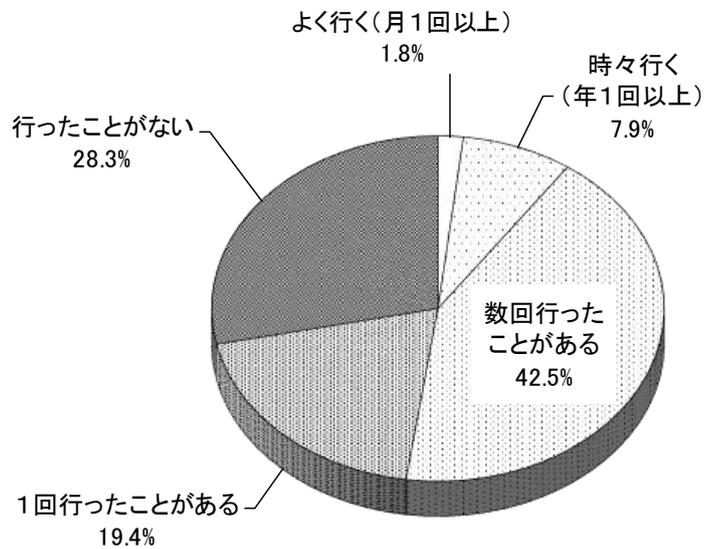
(交通マップ)



葛西臨海公園一帯の利用状況

Q 1 葛西臨海公園又は葛西海浜公園へ行ったことがありますか。

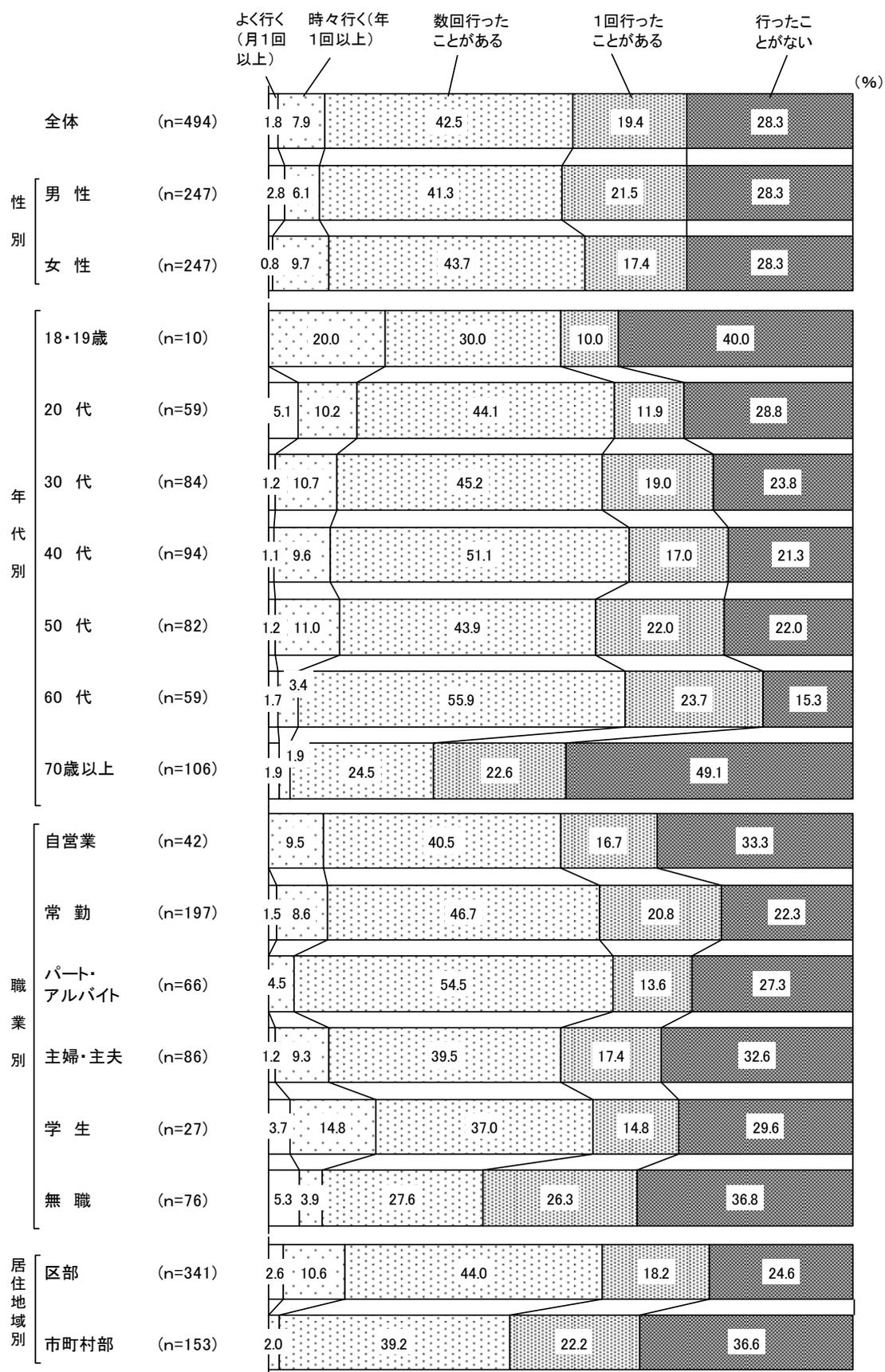
(n = 494)



【調査結果の概要】

葛西臨海公園又は葛西海浜公園に行ったことがあるか聞いたところ、『行ったことがある』(71.6%) (「よく行く(月1回以上)」(1.8%)、「時々行く(年1回以上)」(7.9%)、「数回行ったことがある」(42.5%)、「1回行ったことがある」(19.4%))が7割を超え、「行ったことがない」(28.3%)は、3割近くであった。

◎葛西臨海公園一帯の利用状況（属性別）

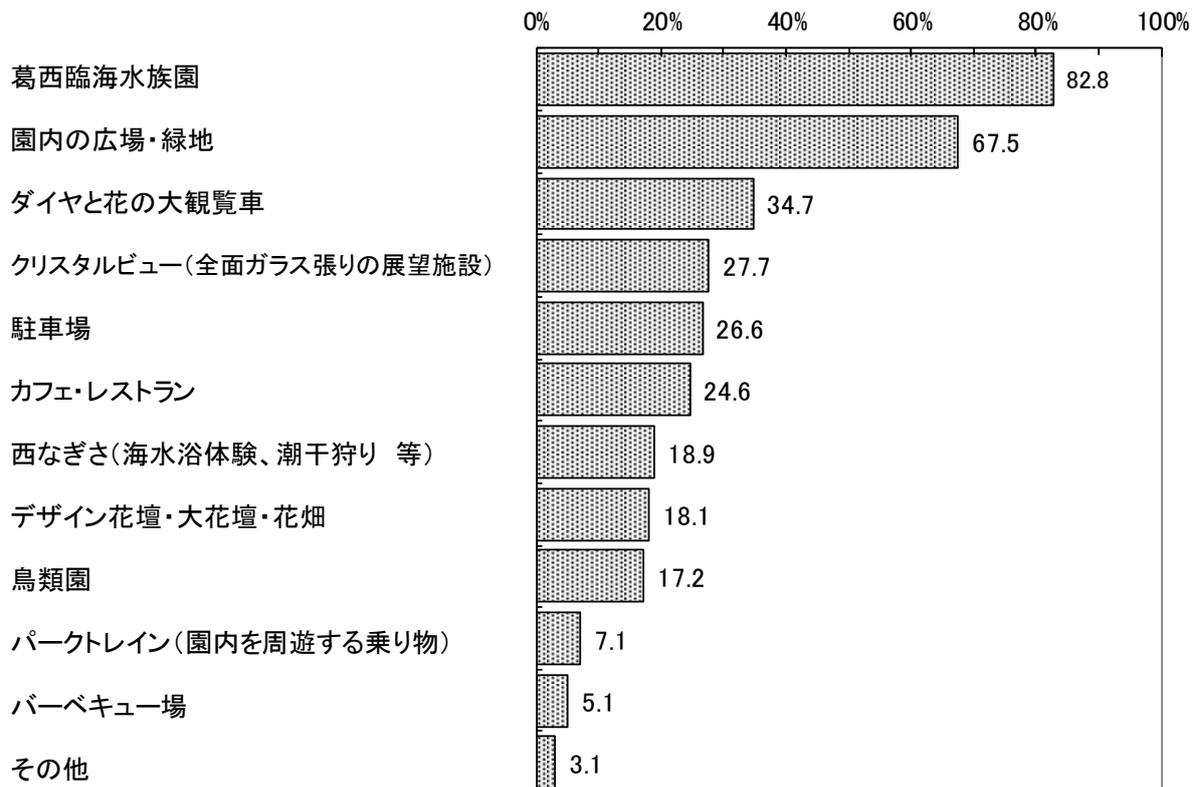


利用したことのある公園施設

Q2 Q1で、「よく行く（月1回以上）」、「時々行く（年1回以上）」、「数回行ったことがある」、「1回行ったことがある」を選択した方に伺います。

葛西臨海公園又は葛西海浜公園で利用した施設は何ですか。次の中からいくつかもお選びください。

MA (n=354)



【調査結果の概要】

Q1で、「よく行く（月1回以上）」、「時々行く（年1回以上）」、「数回行ったことがある」、「1回行ったことがある」を選択した方に、葛西臨海公園又は葛西海浜公園で利用した施設について聞いたところ、「葛西臨海水族園」(82.8%)が8割を超え最も高く、以下、「園内の広場・緑地」(67.5%)、「ダイヤと花の大観覧車」(34.7%)などと続いている。

【参考地図：園内マップ（葛西臨海公園及び葛西海浜公園）】



【参考写真1：葛西臨海公園施設】



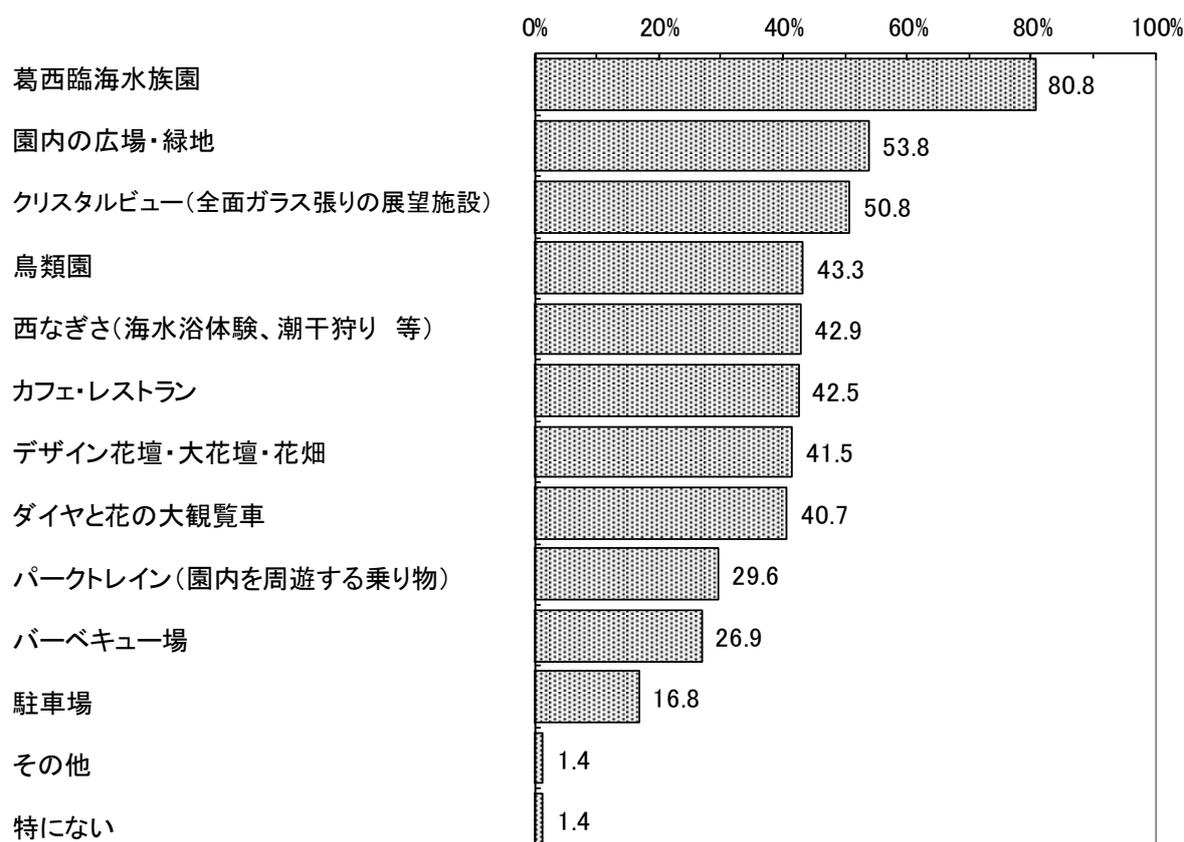
【参考写真2：葛西海浜公園施設】



利用したいと思う公園施設

Q3 葛西臨海公園又は葛西海浜公園で、興味がある、利用したいと思う施設は何ですか。次の中からいくつでもお選びください。

MA (n=494)



【調査結果の概要】

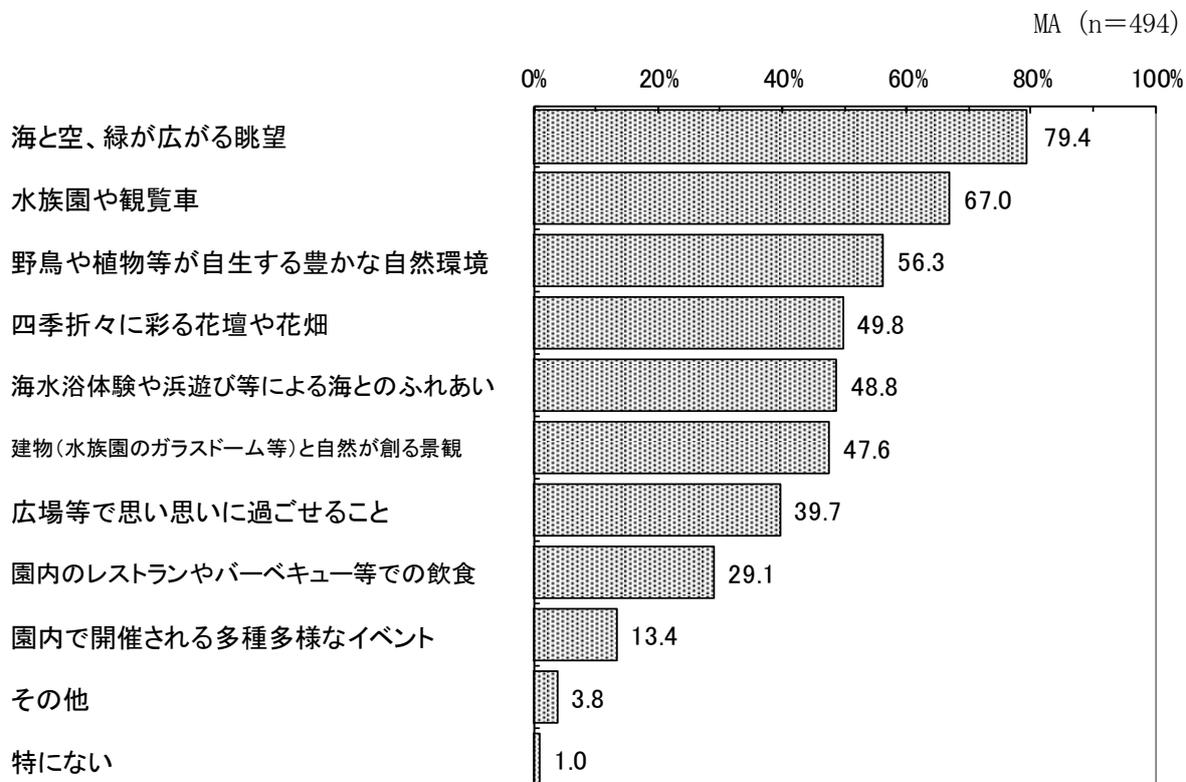
葛西臨海公園又は葛西海浜公園で、興味がある、利用したいと思う施設について聞いたところ、「葛西臨海水族園」(80.8%)が8割を超え最も高く、以下、「園内の広場・緑地」(53.8%)、「クリスタルビュー(全面ガラス張りの展望施設)」(50.8%)などと続いている。

公園一帯の現在の魅力

Q 4 葛西臨海公園や葛西海浜公園は、何が魅力だと思いますか。次の中からいくつかもお選びください。

※行ったことのない方は、下の写真を参考にお選びください。

【参考】



【調査結果の概要】

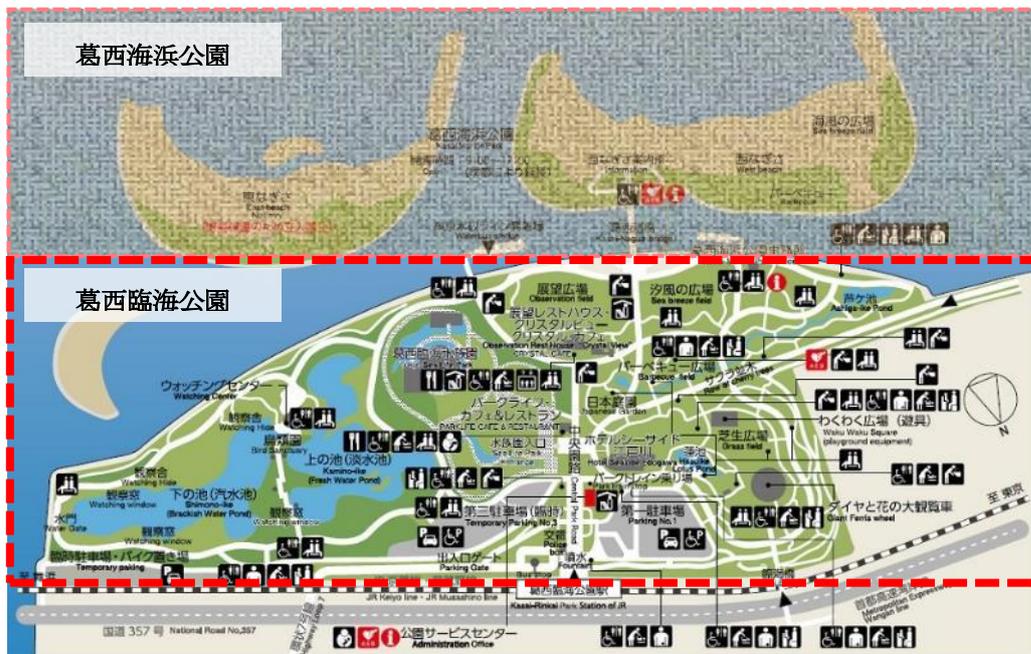
葛西臨海公園や葛西海浜公園の魅力について聞いたところ、「海と空、緑が広がる眺望」(79.4%)が8割近くで最も高く、以下、「水族園や観覧車」(67.0%)、「野鳥や植物等が自生する豊かな自然環境」(56.3%)などと続いている。

今後の葛西臨海公園に望む機能・施設

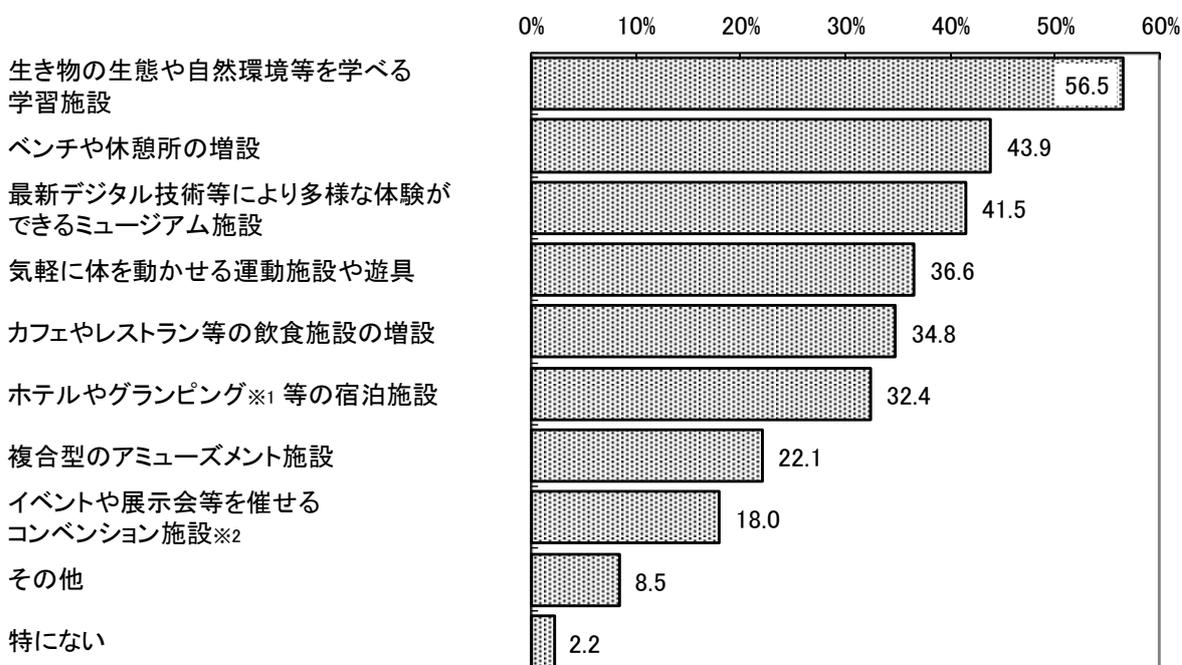
Q5 葛西臨海公園（参考地図部分）の魅力を高めるために、今後、充実させた方がいいと思う機能・施設は何ですか。次の中からいくつでもお選びください。

※行ったことのない方もお答えください。

【参考地図：葛西臨海公園内マップ】



MA (n=494)



※1 グランピング：キャンプの一種で、自然を楽しみながらホテル並みのサービスを受けられる宿泊施設。通常のキャンプと違い、テント設営や料理を作ることもなく、テント泊を楽しめる。

※2 コンベンション施設：会議やイベント等を開催できる複合施設

【調査結果の概要】

充実させた方がいいと思う葛西臨海公園の機能・施設について聞いたところ、「生き物の生態や自然環境等を学べる学習施設」(56.5%)が6割近くで最も高く、以下、「ベンチや休憩所の増設」(43.9%)、「最新デジタル技術等により多様な体験ができるミュージアム施設」(41.5%)などと続いている。

◎ その他の主な意見

- ・ キャンプ場
- ・ 商業施設（コンビニ、グッズレンタル等）
- ・ 施設増設より自然保護を優先
- ・ 雨や日差しを避ける場所
- ・ ペット（犬）と一緒に利用できる施設や広場

新しい葛西臨海水族園への期待

葛西臨海水族園は、平成元年の開園以来 30 年以上が経ち、国内外の社会状況の変化への対応や、施設や設備の老朽化への対策の必要が生じています。

こうしたことから、「海と接する機会を創出し、海と人とのつながりを通して海への理解を深める水族園」という新たな理念のもと、持続可能な社会の実現に貢献するため、令和 8 年度の開園を目指して、現在の水族園の隣接地に、新たな水族園を整備します。

【参考 1】

- ・葛西臨海水族園の更新に向けた事業計画等

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/park/zoo/kouen0096.html>

【参考 2：新水族園の展示イメージ】



<サンゴ礁の生態系>



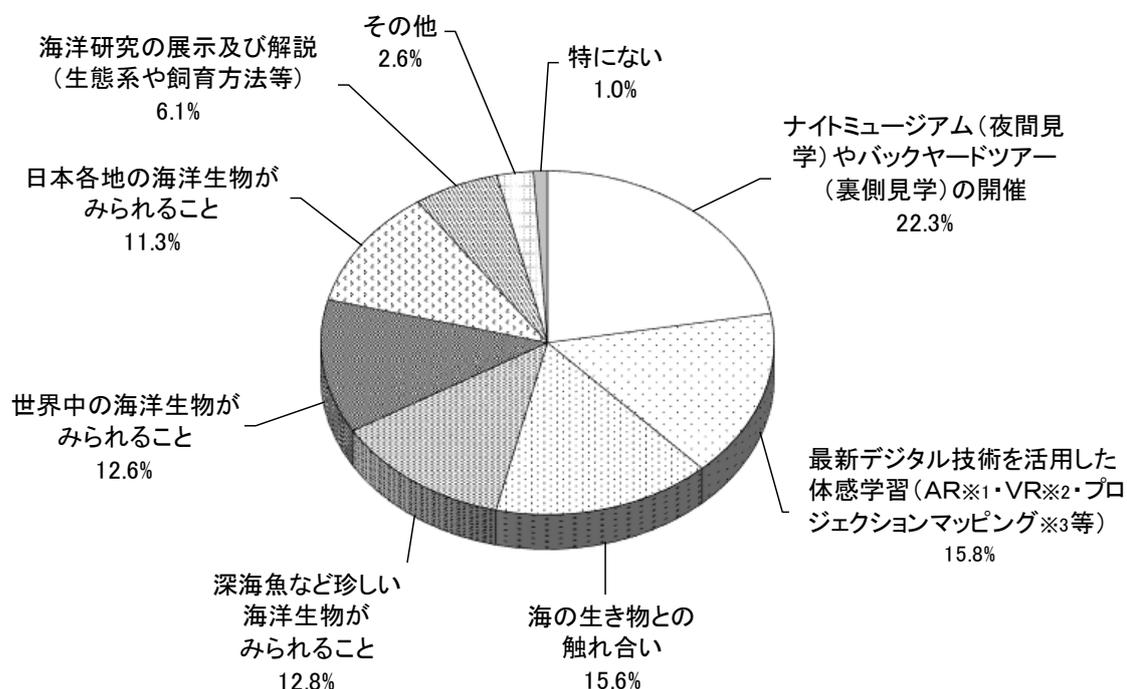
<外洋の生態系>

【参考 3：水族園移転後の位置】



Q6 新しい水族園の整備にあたり、以下の展示等を考えています。この中で、特に期待するものは何ですか。

(n=494)



※1 AR (Augmented Reality) : 現実の風景にデジタル情報を重ね合わせて表示する技術。拡張現実。

※2 VR (Virtual Reality) : 非現実の世界をあたかも現実のように感じさせる視覚映像。専用のゴーグルを着用する。仮想現実。

※3 プロジェクションマッピング : 立体物に映像を投影する技術・演出方法

【調査結果の概要】

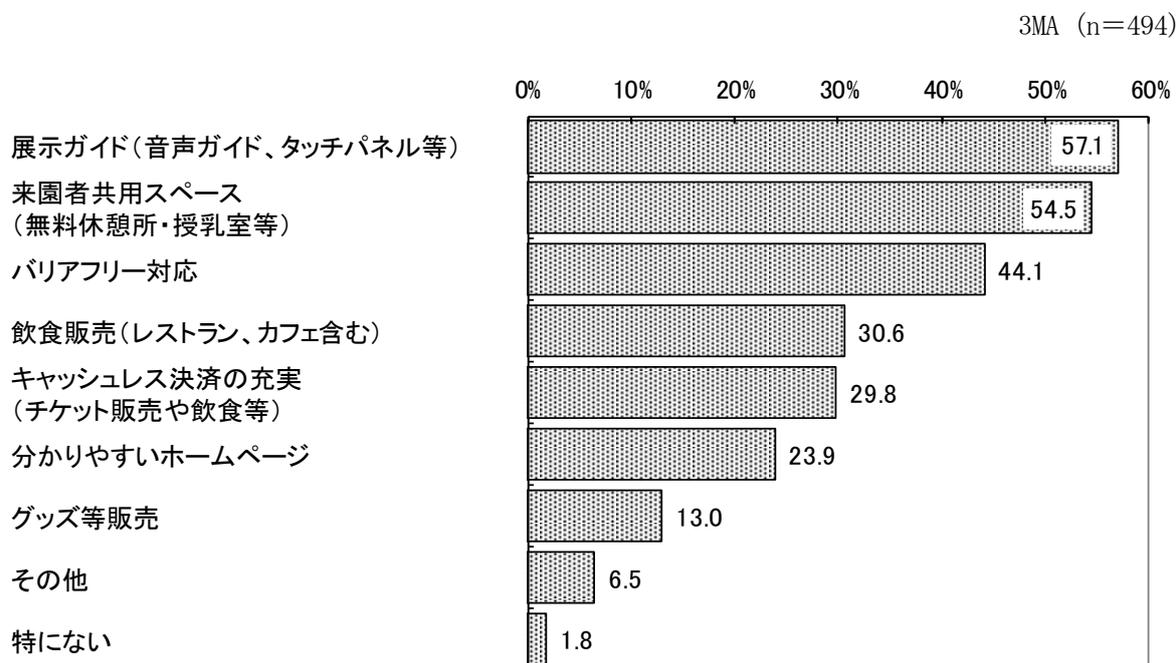
新しい水族園に期待する展示等について聞いたところ、「ナイトミュージアム(夜間見学)やバックヤードツアー(裏側見学)の開催」(22.3%)が最も高く、以下、「最新デジタル技術を活用した体感学習(AR・VR・プロジェクションマッピング等)」(15.8%)、「海の生き物との触れ合い」(15.6%)などと続いている。

◎ その他の主な意見

- ・ 現在の水族館のようなマグロ類の展示方法

新しい葛西臨海水族園のサービス

Q7 新しい水族園において、充実した方がいいと思うサービスは何ですか。次の中から3つまでお選びください。



【調査結果の概要】

新しい水族園において、充実した方がいいと思うサービスについて聞いたところ、「展示ガイド(音声ガイド、タッチパネル等)」(57.1%)が6割近くで最も高く、以下、「来園者共用スペース(無料休憩所・授乳室等)」(54.5%)、「バリアフリー対応」(44.1%)などと続いている。

◎ その他の主な意見

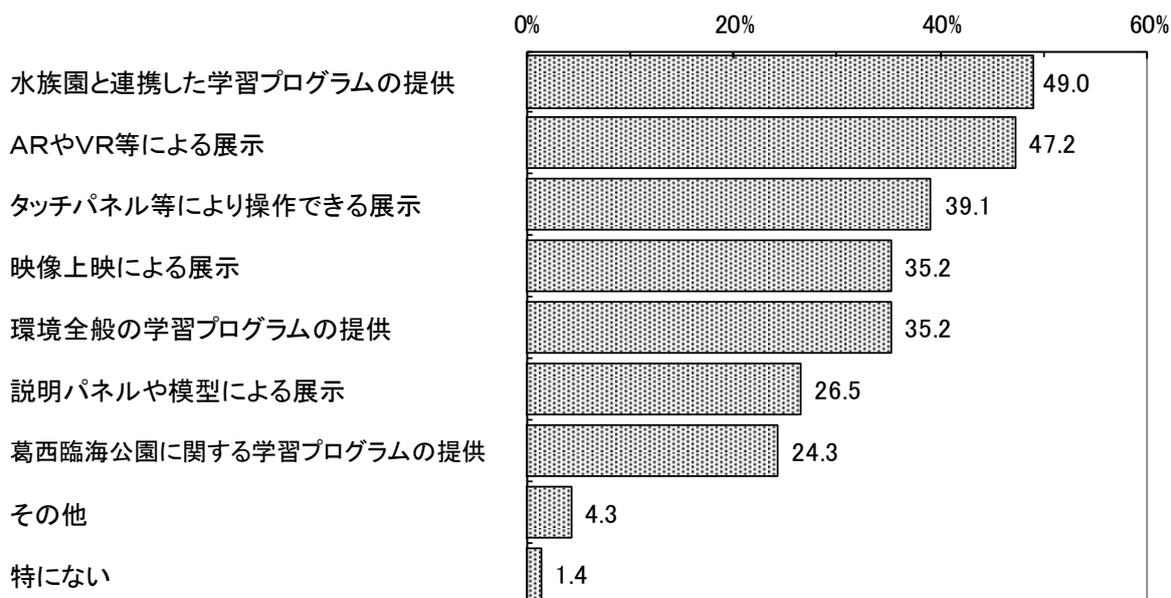
- ・ 子供が生き物に興味を持てるようなふれあいコーナー
- ・ 混雑緩和のための予約サービス

現水族園（既存施設）の展示・プログラム

Q 8 葛西臨海水族園は、これまで自然教育を重視し、海や淡水の生き物にスポットを当てた、自然の多様さや豊かさを伝える展示・プログラム等を実施してきました。

現在の水族園機能を新しい水族園に移転した後、既存施設を今後も環境学習の場として活用するとした場合、行ってみたいと思う展示・プログラムを次の中から3つまでお選びください。

3MA (n=494)



【調査結果の概要】

現水族園（既存施設）を今後も環境学習の場として活用する場合に、行ってみたいと思う展示・プログラムを聞いたところ、「水族園と連携した学習プログラムの提供」（49.0%）、「ARやVR等による展示」（47.2%）が5割近くで上位となっており、以下「タッチパネル等により操作できる展示」（39.1%）などと続いている。

現水族園（既存施設）の活用

Q9 Q8では現在の水族園の建物（既存施設）を環境学習の場として活用することについて伺いましたが、そのほかに、どのような施設として利用することが望ましいと思いますか。次の中から3つまでお選びください。

※現在の水族園の建物の規模は、野球場1面程度です。

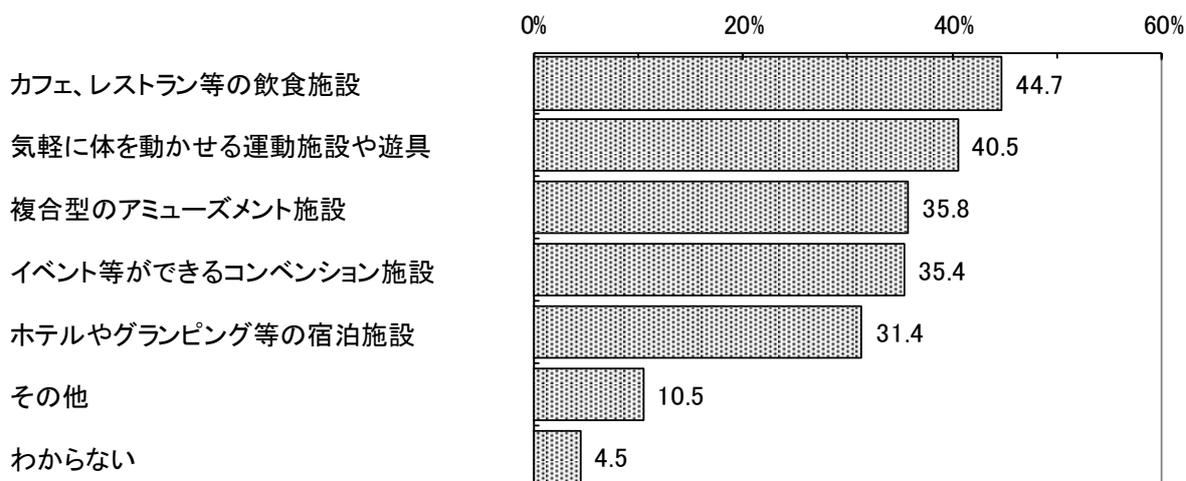
【参考：周辺施設図（水族園移転後の位置含む）】



【現在の水族園の建物（ガラスドーム）】



3MA (n=494)



【調査結果の概要】

現水族園（既存施設）について、環境学習の場以外ではどのような活用が望ましいか聞いたところ、「カフェ、レストラン等の飲食施設」（44.7%）が最も高く、以下、「気軽に体を動かせる運動施設や遊具」（40.5%）、「複合型のアミューズメント施設」（35.8%）などと続いている。

◎ その他の主な意見

- ・ 芝生のグラウンド
- ・ 災害時の避難施設
- ・ 休憩施設

葛西臨海公園一帯について（自由意見）

Q10 葛西臨海公園一帯について、あなたの意見を自由にお書きください。

(n=487)

(1) 水族園を含む公園一帯の運営・施設整備に関すること	187 件
(2) 公園一帯の印象に関すること	115 件
(3) 公園一帯の自然環境・災害対策に関すること	82 件
(4) 企画・PRに関すること	57 件
(5) アクセス・移動手段に関すること	43 件
(6) その他	3 件

（主なご意見）

（1） 水族園を含む公園一帯の運営・施設整備に関すること 187 件

- 広大な敷地に多種多様な自然が保存されており、都内有数の魅力的な施設だ。しかし、以前何度か足を運んだ際、人の多いエリアと少ないエリアがあることに気がつき、敷地全体を有効活用しきれておらず、もったいないと感じた。質問の項目にもあったように、グランピング施設やAR・VRの活用により、葛西臨海公園の魅力を更に向上させるような施策は非常に有効だと思う。また、イベントスペースや駐輪用のスペース・設備（ラック等）の拡充にも期待したい。ただ、あくまでそれらは既存の自然環境を生かそうとするうえで行われるべきで、エンターテイメント施設としての充実度や最新技術の活用を過度に意識する必要はないと個人的には思う。
(男性 20代 西東京市)
- ここ数年は行っていませんが、以前は食事に困った覚えがあります。レストランを入れる必要はありませんが、ワゴンでお弁当を売っていて、食べるスペースがあるとか、工夫して一日を過ごせる場所になったらと思います。自然がたくさんなので、下手に商業施設を入れるよりも環境を生かした企画、ここでしかできない何かを見つけて、いまの形を生かしてほしい。
(女性 30代 江東区)
- 都会で海洋環境を楽しみながら学べる良い施設だと思います。願わくば、デジタル対応など時代に合った形に整備し直して、定番施設として末永く利用されるようなものにしてほしい。
(男性 30代 品川区)
- 海洋生物が大好きな息子と毎年都民の日に葛西臨海水族園を訪れています。一年ごとに息子の成長が感じられる、家族にとって思い出深い場所です。家族で訪れ、自然に触れたり学んだりして、ゆったり過ごせる場所にしていきたいです。そういう意味でも、飲食店や屋内外のベンチなど休憩スペースの充実は、子供が遊ぶ間に親や祖父母が休めるため、ありがたいです。
(女性 40代 中央区)

- 複合施設やアミューズメント施設は近くの千葉県にたくさんあるので、中途半端に対抗するより、ここにしかない場所を目指してほしい。自然環境は、都心から近い場所としては最大かと思うので、そこを生かす整備を目指した方が利用価値は上がると思う。
(男性 40代 台東区)
- 水族館と海、四季折々の自然を感じられることに大いに魅力を感じます。敷地が広く、初めて訪れた際に少し迷ったので、案内が目立つようにしていただければ助かると思います。加えて、多くの方々に訪れていただくためにも、車椅子を利用されている方や体の不自由な方、小さなお子様をお連れの方などへの配慮も増えることを期待しております。
(女性 40代 清瀬市)
- 葛西臨海公園は海の自然に関する体験のできる、子供から大人まで楽しく過ごせる施設です。可能であれば、更に体験を深める事のできる楽しい滞在施設があると良いと思いました。防災面でも活用できるものであっても良いかと思いました。ただ、車の出入りで渋滞しがちです。そこは改善されるともっと身近に利用できるといいと思います。
(女性 50代 新宿区)
- 手つかずは無理でも、あまり人工的な味付けは好ましくない。できるだけ自然な味わいを大切にしたい公園であってほしい。全体の入場者増も子供たちの入場増も大事だと思うが、一方で大人が夕刻以降、ゆっくり散策したり自然観察したりできる施設や企画にも期待したい。
(男性 50代 北区)
- これまでも皆の憩いの場所だったので、これからもその流れをくみながら、国際的に多様性を重んじて進化してほしい。バリアフリー、多言語の看板、多目的トイレはもちろん、カフェや軽食についても多様な文化を尊重してほしい。
(女性 50代 調布市)
- 多少天候が悪くても（雨が降っていても）、外で時間を過ごせるようなテント張りや屋根がある施設があるとうれしいです。難しいとは思いますが、天候に関わらず外の空気に当たりながら、のんびりと時間が過ごせると幸せを感じます。
(男性 60代 国分寺市)
- 葛西臨海公園は憩いの場として、充実・拡大すべきである。
(男性 70歳以上 江東区)
- 葛西臨海公園一帯は都内唯一の臨海公園です。海洋自然に触れるには最適な場所です。教育的な面でも大きな存在です。今後大きく手を加える事なく、必要な整備を実施する事を望みます。そこにある水族館も役目は大きい。新しい水族館を整備する事には賛成です。ただし、現在の水族館は建築的に見ても価値のある建物です。生かす工夫は絶対に必要だと思います。(女性 70歳以上 江戸川区)

(2) 公園一帯の印象に関すること 115 件

- 東京の中では公園や自然のある広いスペースが少ないため、このような施設はとても良いと思う。そして、公園だけではなく、水族館や観覧車などの施設もあり、一日中過ごすことができるため、個人的にお気に入りの場所である。今後、更に充実することはとてもうれしく思う。(女性 10代 江東区)
- 私は今まで一度も公園一帯を訪れたことがありませんでした。しかし、様々なイベントや施設があることを知り、とても興味を持ちました。葛西臨海公園周辺は都会に近いので、日帰りはもちろん、泊まりでも利用したいと思いました。(男性 20代 小金井市)
- 自然を身近に感じられる貴重な場所だと思います。(男性 40代 千代田区)
- 自宅から遠く、なかなか利用する機会がありませんが、東京都にとっても自然豊かで貴重な場所のひとつであると思うので、機会を見つけて今後も利用していきたいと思います。(男性 50代 大田区)
- 東京でありながら、海が身近に感じられる場所だと思っています。自宅からは近くありませんが、水族館を見学したり、なぎさで遊んだり、子供と一緒に都会の自然を満喫できる貴重なスポットです。これからも一日をゆったり過ごせる公園であってほしいです。(女性 50代 武蔵野市)
- 老若男女問わず楽しめる公園だと思います。ドーナツ型の大水槽で泳ぐマグロの群れは迫力があり、葛西臨海水族園でしか味わえないのも魅力です。バーベキューから潮干狩り、水族園に観覧車と、アクティビティが充実した素晴らしい施設だと思います。かなり前に行った時は、水上バスでのアクセスが休日のみだったので、平日もあるとうれしいと感じました。(女性 50代 府中市)
- 駅から近い水鳥の生息地で何回か訪れたことがある。そのたびに鳥の多さに驚いた。維持することは大変だと思いますが、これからの子供たちにも同じ感動を味あわせてあげたい。(女性 60代 小金井市)

(3) 公園一帯の自然環境・災害対策に関すること 82 件

- 地震や津波等の災害対策も行っていただきたく思います。(男性 10代 町田市)
- 広大な敷地で非常にぜいたくな空間だと思います。自然と戯れられる価値をもっと全面に出してもよいかと思います。(男性 30代 三鷹市)
- なぎさなど、現状のままでも十分に魅力的な環境下にあると思います。自然環境が豊かであるがゆえに、あまり乱開発はしてほしくはありません。ただ、財政

的に既存施設の維持管理が難しいと判断されているようであれば、複合施設など民間テナント収益などで維持費を賄える方向が良いのかなと感じました。既存のガラスドームなどは老朽化が進んでいるようですが、できることなら象徴として残せないものかと思います。(男性 40代 練馬区)

○ 緑があふれ、水との距離が近くて良い場所だと思います。地震の後の液状化現象など、地盤のことは気になります。(女性 40代 調布市)

○ 人工的な施設は最小限に抑えて、自然を肌で感じることができる環境を整えてほしい。例えば遊歩道を整えて、要所要所に休憩所や健康遊具があって利用でき、少し小高くなった展望所からは、東京湾が見渡せ、海の風・香りを感じることができる。そんな、のんびり過ごすことができる空間が理想的です。(女性 60代 杉並区)

(4) 企画・PRに関すること 57件

○ 葛西臨海公園イコール水族館というイメージが強いです。学校行事で行くことが多いように思います。その際、水族館だけに行き、他のスポットの説明がなかった気がします。だから葛西臨海公園イコール水族館というイメージなのかもしれません。今回アンケートで公園などの魅力的なスポットがあることを知りました。この魅力的なスポットを多くの人に知っていただくためには、公園でできる簡単な運動のワークショップを行ったり、YouTubeを使用し、スポット巡りを行ったりしたら良いのではないかと思います。(女性 20代 練馬区)

○ 子連れでお出かけしやすいように、子供が遊べる芝生広場やコンテンツの充実とともにPR方法を工夫されたい。(女性 30代 文京区)

○ 葛西臨海公園は最近テレビで潮干狩りをする姿を見てこのような体験ができると知り、行ってみたいと思っていました。葛西臨海公園ならではの雄大な海と眺望を新水族館、最新のデジタルを生かしながら楽しく学ぶなど、期待しております。認知拡大を図るうえで戦略的な広報が重要だと思います。(女性 60代 中央区)

(5) アクセス・移動手段に関すること 43件

○ 日本最大級の自然公園として魅力的なスポットですが、都心からやや離れており、交通機関の乗り換えなどアクセスに不便を感じるので、新宿・渋谷などのターミナル駅から直通で行けるバスなどがあれば、都民がより利用しやすいのではないかと思います。(男性 30代 立川市)

○ 公園内が広いので、移動手段としてレンタサイクルなどが充実しているとうれしいです。(女性 40代 江戸川区)

- とても広いので、ひとつのところから別のところまでの移動に時間がかかるし、疲れる。なので、園内だけで使え、しかもどこにでも乗り捨てられるような電動キックボードなど、有料貸出しの移動手段があれば良いです。

(女性 60代 世田谷区)

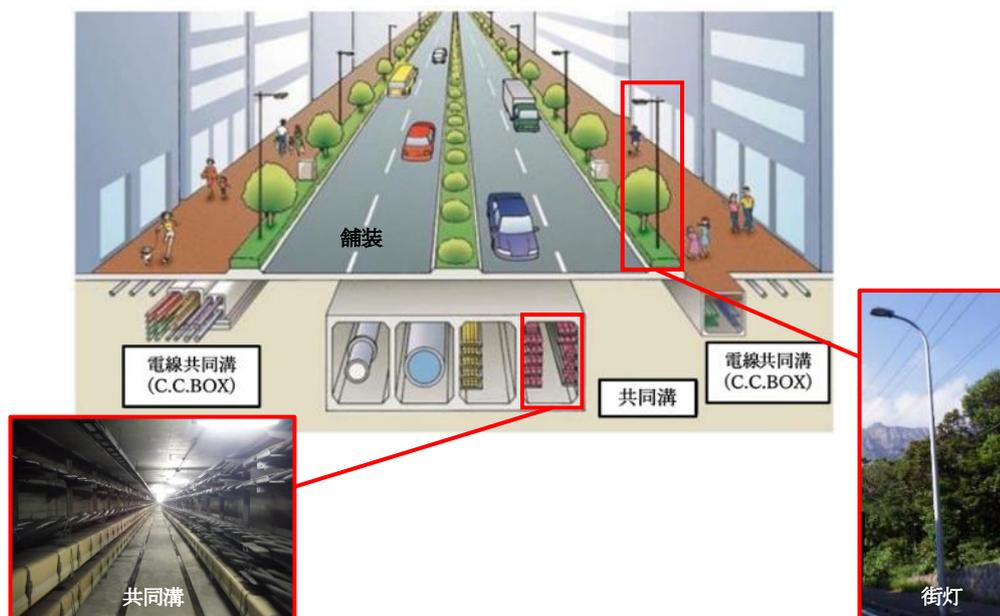
<道路施設の維持管理>

【道路施設の現状】

道路は、都民生活や都市活動を支えるとともに、災害時には救助・救援活動や緊急物資輸送など都民の生命と財産を守る極めて重要なインフラです。

東京都の様々な道路施設（橋やトンネル等）は、その多くが 1960 年代～70 年代に建設されているため、経年に伴う劣化や損傷が進んでいます。

道路施設のイメージ図



道路施設の例



トンネル



橋梁



擁壁

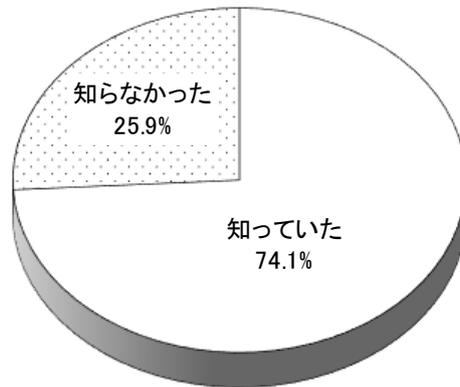


橋梁

劣化や損傷が進行する道路施設に対する認識

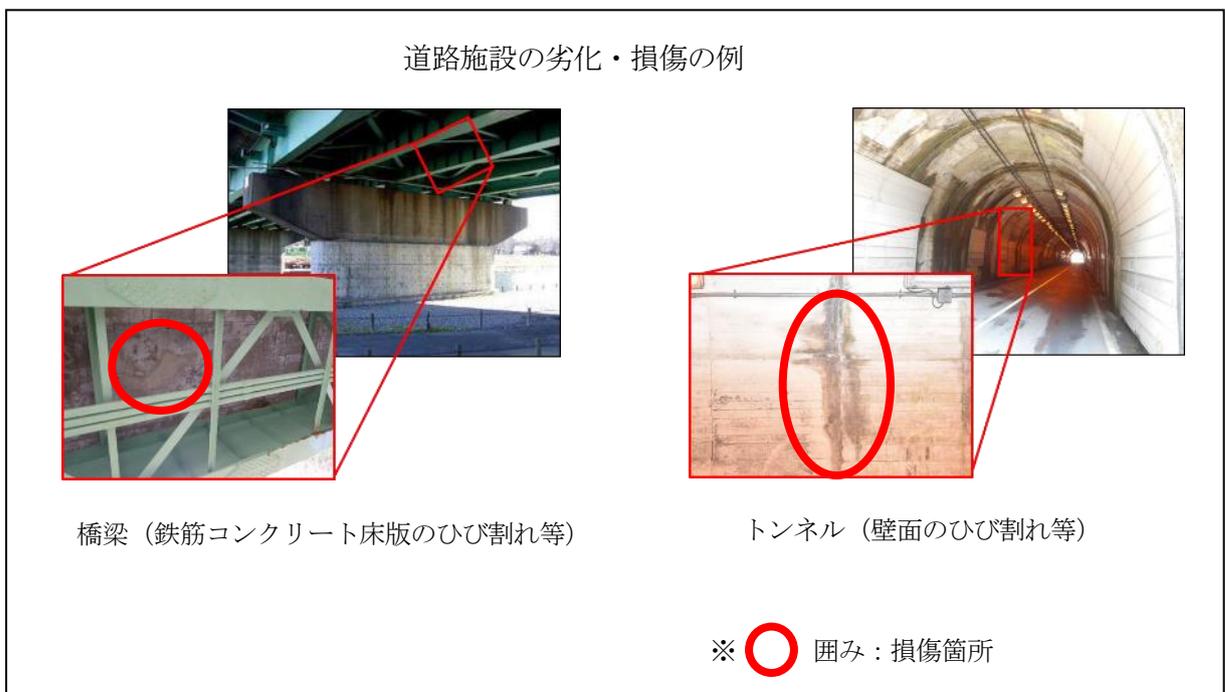
Q11 あなたは、東京都の橋やトンネル等の道路施設が、経年に伴い劣化や損傷が進んでいることをご存知でしたか。

(n=494)



【調査結果の概要】

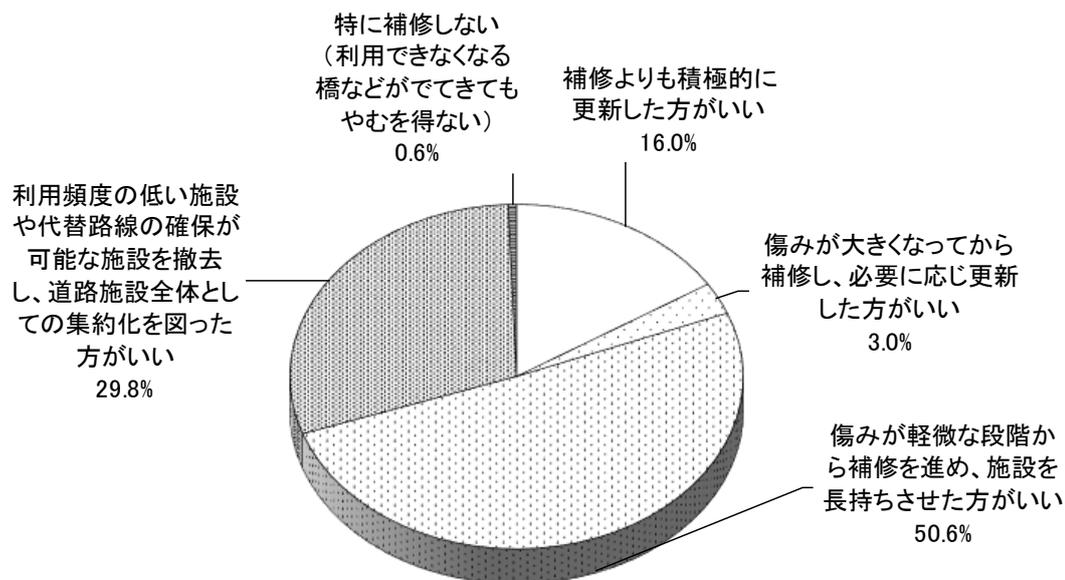
東京都の橋やトンネル等の道路施設で、劣化や損傷が進んでいることについて聞いたところ、「知っていた」(74.1%)が7割半ばで、「知らなかった」(25.9%)が2割半ばであった。



道路施設の維持管理に求めるもの

Q12 東京都の道路施設（橋やトンネル等）は、その多くが、経年劣化が進んでいます。これらの道路施設について、どのように補修（傷んだ箇所を直すこと）や更新（新たに施設を造り替える）を行うべきだと思いますか。あなたのお考えに最も近いものをお答えください。

(n=494)



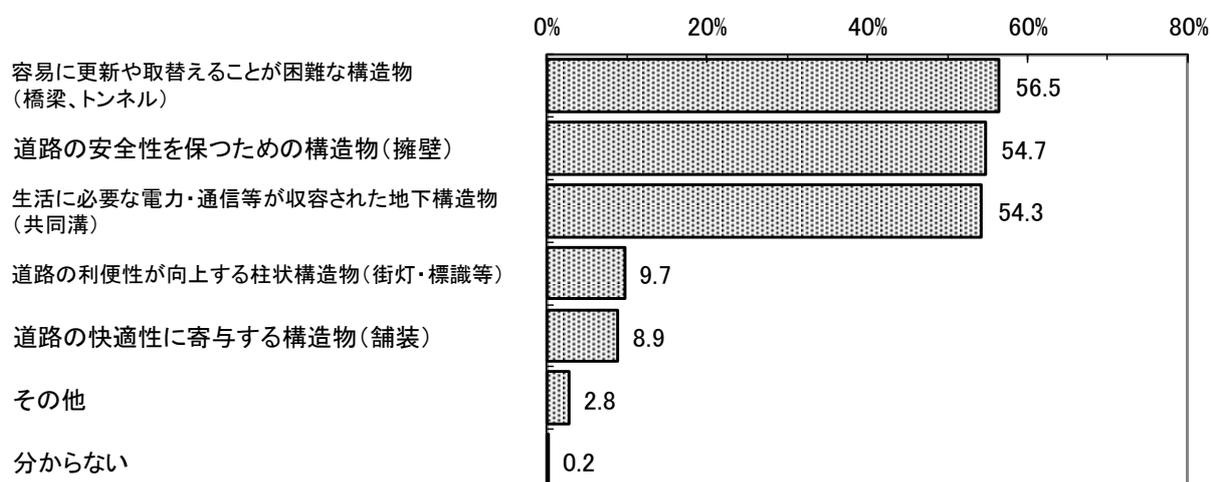
【調査結果の概要】

経年劣化が進んだ道路施設の補修や更新について聞いたところ、「傷みが軽微な段階から補修を進め、施設を長持ちさせた方がいい」（50.6%）が5割を超え最も高く、以下、「利用頻度の低い施設や代替路線の確保が可能な施設を撤去し、道路施設全体としての集約化を図った方がいい」（29.8%）、「補修よりも積極的に更新した方がいい」（16.0%）などと続いている。

道路施設の維持管理の優先度

Q13 東京都の財源は限られています。その中で都が道路施設を維持管理する際に、重点的に対応すべきと考えられる道路施設を次の中から2つまで選んでください。

2MA (n=494)



【調査結果の概要】

都が道路施設を維持管理する際に、重点的に対応すべきと考えられる道路施設について聞いたところ、「容易に更新や取替えることが困難な構造物 (橋梁、トンネル)」(56.5%)、「道路の安全性を保つための構造物 (擁壁)」(54.7%)、「生活に必要な電力・通信等が収容された地下構造物 (共同溝)」(54.3%) の3つが5割半ばで、上位となっている。

道路施設の予防保全型管理の概要

道路施設は経年に伴う劣化や損傷が進んでおり、更新※1 や大規模な補修※2 の時期を一斉に迎えることから、これまで以上に維持管理費が必要になります。

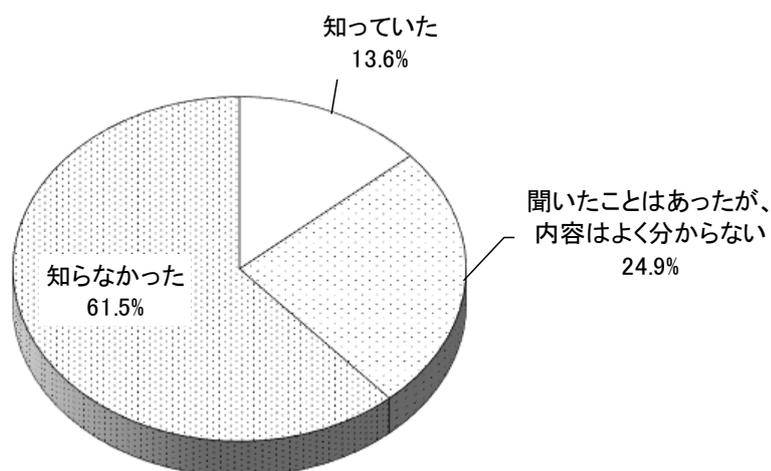
都では、限られた財源の中で、道路施設の劣化や損傷が進行する前に対策を講じて計画的に補修を行うことにより、更新時期の平準化とコストの縮減を図る「予防保全型管理」を推進しています。

※1 更新：新たに施設を造り替えること ※2 補修：傷んだ箇所を直すこと

予防保全型管理の認知度

Q14 予防保全型管理という取組を知っていましたか。

(n=494)



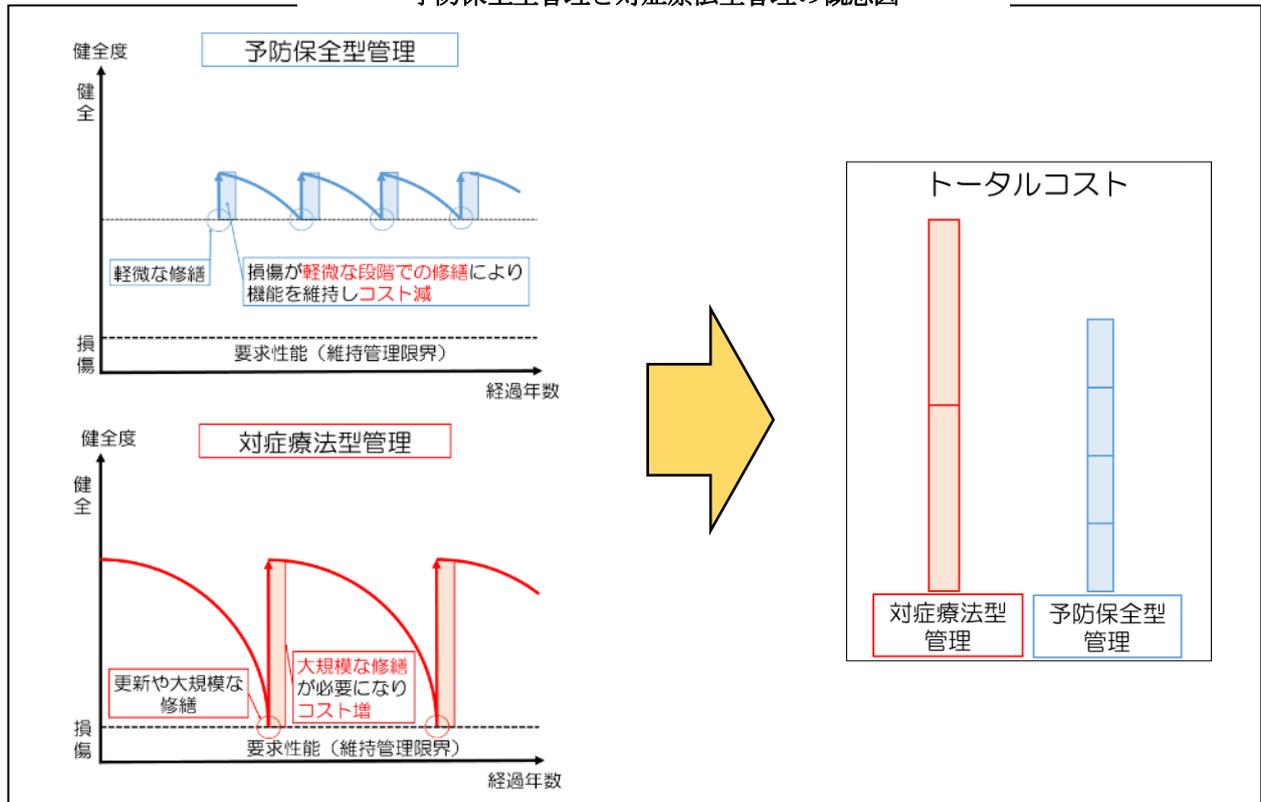
【調査結果の概要】

予防保全型管理という取組の認知度について聞いたところ、「知らなかった」(61.5%)が6割を超え最も高く、以下、「聞いたことはあったが、内容はよく分からない」(24.9%)、「知っていた」(13.6%)の順となっている。

<参考>

管理手法	内容	更新時期	コスト
予防保全型管理	損傷が軽微な段階で対応する管理手法	分散・軽微	縮減
対症療法型管理	損傷が発生してから対応する管理手法	集中・大規模	膨大

予防保全型管理と対症療法型管理の概念図



※要求性能 (維持管理限界) とは、施設の構造を維持するうえでの限界値をいう。要求性能を下回ると、使用できない状態となる。

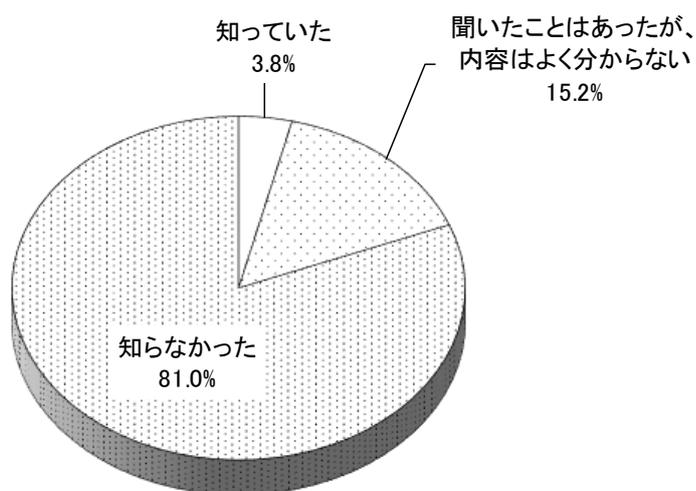
「予防保全計画」の認知度

Q15 東京都では、これまでに「橋梁の管理に関する中長期計画」及び「トンネル予防保全計画」を策定し、管理する橋やトンネルの予防保全型管理を推進してきました。また、令和3年3月にはこれら計画の見直しを行い、新たに「橋梁予防保全計画」及び「第二次トンネル予防保全計画」を策定し、予防保全型管理をより一層推進することとしました。

あなたは、このような計画があることをご存知でしたか。

※いずれかの計画を知っていれば、「知っていた」を選んでください。

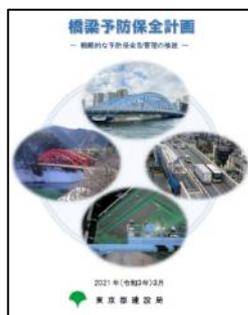
(n=494)



【調査結果の概要】

「予防保全計画」の認知度について聞いたところ、「知らなかった」(81.0%)が8割を超えた。以下、「聞いたことはあったが、内容はよく分からない」(15.2%)、「知っていた」(3.8%)の順であった。

「橋梁予防保全計画」及び「第二次トンネル予防保全計画」



橋梁予防保全計画

URL <https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/content/000051884.pdf>

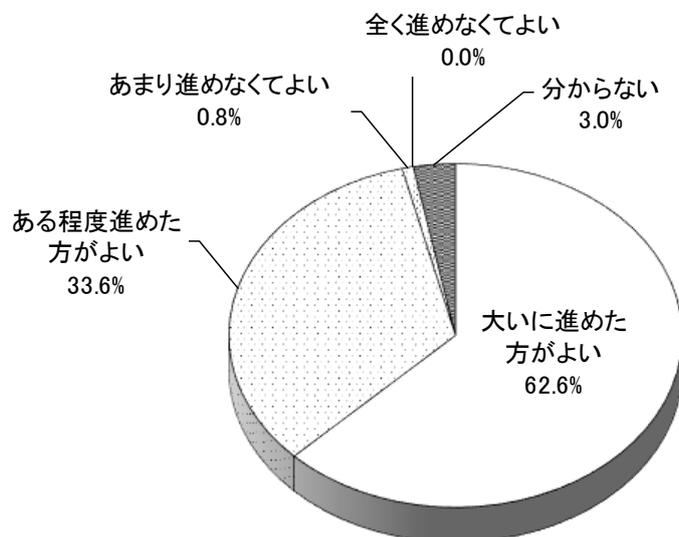
第二次トンネル予防保全計画

URL <https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/content/000051883.pdf>

予防保全型管理に対する認識

Q16 限られた財源の中で、計画的に補修を行うことにより、更新時期の平準化とコストの縮減を図る「予防保全型管理」の取組について、どう思われますか。

(n=494)



【調査結果の概要】

「予防保全型管理」の取組について聞いたところ、『進めた方がよい』(96.2%)（「大いに進めた方がよい」(62.6%)、「ある程度進めた方がよい」(33.6%)）が9割半ばで、『進めなくてよい』(0.8%)（「あまり進めなくてよい」(0.8%)、「全く進めなくてよい」(0.0%)）を大きく上回った。

道路施設の維持管理について（自由意見）

Q17 道路施設の維持管理のあり方や予防保全型管理について、あなたの意見を自由にお書きください。

(n=486)

- | | |
|-----------------------|-------|
| (1) 維持管理の手法、財源等に関すること | 209 件 |
| (2) 予防保全型管理に関すること | 105 件 |
| (3) 道路施設の安全性に関すること | 71 件 |
| (4) 道路施設の整備、計画等に関すること | 63 件 |
| (5) 情報の発信に関すること | 26 件 |
| (6) その他 | 12 件 |

（主なご意見）

（1） 維持管理の手法、財源等に関すること 209 件

- 道路施設は自動車や歩行者といった移動手段のみのためにあるものではなく、延焼防止やインフラ機能設置空間、地下鉄建設空間など、社会生活に必要なものであり、そのような関連事項も考慮して、今後も道路施設の維持管理に取り組むことを期待する。また、今後の人口規模等に合わせた持続可能な施設になることを望む。
(男性 10代 江戸川区)
- 人口と財源が減少する中で、選択と集中はやむを得ないと思う。しっかりとした選択と集中を行い、長く使えるものをこまめにメンテナンスしていくのが持続可能性のある方法だと思う。
(男性 20代 大田区)
- 限られた予算内で行うには、ある程度の取捨選択は必要かと思います。次世代へ負担のかけるやり方は良いとは思いません。施設の維持管理費は高いものだと思います。そのコストに見合うものだけを残すことも必要かと考えます。
(男性 30代 青梅市)
- 財源が限られているからといって、補修しないで起こる事故が怖い。なるべく施設を集約して（遠回り等の必要が起こるかもしれないが）、安全な生活を送れるようにしてほしい。
(男性 30代 国分寺市)
- 人口減少社会において財源の確保はより困難に直面するでしょう。限られた財源を有効に活用するためにも、選択と集中の観点から、コンパクトシティ化を推進することにより、現在ある道路施設を全て更新するのではなく、維持管理が必要な道路施設を絞り込んで対応していくことが重要と考えます。
(男性 40代 足立区)

- 限られた財源の中で、地震、集中豪雨などによる自然災害から守り、生活インフラを支えるため、道路施設の延命を図りつつ、生活の利便性を損なわないような維持管理が望ましいと思います。
(男性 50代 北区)
- 道路施設の安全性を高めることは大事ですが、費用にも限りがあるという問題を改めて知りました。どのように優先度を調整するのか難しい問題だと感じました。
(女性 50代 武蔵野市)
- 今ある道路施設を維持する方法から、撤去する・集約させるといった事を実施することにより、維持管理費用の削減を目指していただきたいと思います。
(男性 50代 府中市)
- 日本橋の高速道路など、当時は便利さや経済活動などを優先させてきたが、維持管理なども含め、これからは景観なども重要視していかなければならないと思う。
(男性 60代 目黒区)
- 施設の利用度合い、代替施設の有無、周辺交通や環境への影響度を考慮し、保全取組の優先順位付けをし、結果を公開し、実施してってください。
(男性 60代 武蔵野市)
- 身近に建設関連の職人をしている人がいて、普段から、壊れてしまう前の普段の手入れやメンテナンスの重要性をよく聞かされています。大規模な施設でも同じだと思っています。
(女性 70歳以上 港区)

(2) 予防保全型管理に関すること 105件

- 予防保全型管理などについて、正直よく認知も理解もしていなかった。長期的に見てコスト削減につながり、また自然災害等への対策の観点からも恐らく重要だと思うので、それらのことが都民に広く認知されれば、財源支出に対しても自然に理解が得られると思う。
(男性 20代 西東京市)
- 近年、甚大な被害をもたらす自然災害が多発する日本において、ライフラインに関わる施設を定期的に補修してリフレッシュしていくことは必須だと感じます。特に利用可能な土地と財源が限られている東京では、現存する道路施設を維持する予防保全型管理が適していると思います。もし、施設を更新する場合には、似たような施設が乱立せぬよう、集約化して、スマートな東京にしてほしいです。
(女性 30代 島しょ)
- 財源も限りがあり、一度に全ての道路・トンネルなどを更新するのは不可能なので、結果的にコストが抑えられるのであれば、予防保全型管理はとても有効だと思います。更新の時期をそれぞれずらしていけば、何十年か先の次の更新も楽になるので良いです。
(女性 40代 渋谷区)

- コスト削減、工事の分散等の点で、予防保全型は非常にメリットのある方法だと認識しており、保全の世界では、常識的な方法であると思う。
(男性 60代 墨田区)

- コストをかけずに予防的に保全管理していく考え方を初めて知ったが、道路施設維持管理の在り方としては極めて合理的であると感じた。ひとたび事故が起きれば取り返しのつかない犠牲が生じるので、安全性の確保からも、地道で着実な予防保全型管理を積極的に進めてほしい。
(男性 70歳以上 小金井市)

(3) 道路施設の安全性に関すること 71件

- 劣化により、安全性が低下することが一番あってはならないと思う。
(女性 20代 墨田区)
- 予防保全型管理で補修しつつ、やはり、いつかは来る地震や近年多い台風などの災害に向けて、主要な道路については新しく整備していくことも必要なのかと考えます。ただ、コロナ禍での財政負担を考えると、道路管理の維持管理にかけられるコストも限られてくるので、本当に必要な道路をデータに基づいて見極めていくことが大切であると考えます。
(女性 30代 墨田区)
- 首都圏の大地震や集中豪雨に備えた防災的な処置を充分行った管理をしてほしい。
(男性 30代 渋谷区)
- 限られた財源の中で進めるのならば、利便性よりも安全性をより重視した維持管理をしてほしいです。
(男性 40代 渋谷区)
- 今まで知らなかったことで勉強になりました。日本は地震など災害も多いので安全性を第一にと思いながら拝読しました。
(女性 50代 墨田区)

(4) 道路施設の整備、計画等に関すること 63件

- 優先度を見極めて対応するのは難しいことですが、有識者の意見等を参考に、どういう都市にしたいのか、その視点も大事に進めたほうが良い。なんでも早めにやればいいのではなく、あくまでどういう都市にしたらいいかの視点も大事に進めてください。
(男性 50代 三鷹市)
- 今までのやり方にとらわれず、効率化につながる新材料・新技術を積極的に導入してほしい。
(男性 50代 府中市)

- 限られた財源なので、優先順位を決めて集約化した計画を立てることが大切だと考えます。大規模災害への備えも準備していると思いますが、それらとの連携した取組が必要で、都民の安全性を重視した計画の実施を期待します。

(男性 60代 小金井市)

(5) 情報の発信に関すること 26件

- 道路施設の多くで経年劣化が進んでいることや、予防保全計画があるということを全く認知していなかったため、多くの人が内容を理解することができるようにホームページなどで発信する必要があると思う。その際は、子供にも分かりやすい内容にしてほしい。

(女性 10代 文京区)

- 道路の不具合や報告は、一般からのアプリを通じた連絡にするなど、人件費と時間の削減が必要。

(男性 40代 立川市)